

## 体験型海外教育実地研究 -第3学年異文化交流 三文字熟語で表現しよう-

広島大学教育学研究科学習科学専攻カリキュラム開発専修 古市果菜絵

### 1 はじめに

実のところ、私は英語に対して強い苦手意識をもっている。この苦手意識がどこから来たのかは全く覚えていないが、中学生の時から英語で「読むこと」「書くこと」「話すこと」すべてが苦手であった。そのため、中学生のときに学校間交流で日本を訪問していた同年代の留学生と話をし、仲良くなりたいと思っていたが結局話しかけられずにいた苦い思い出がある。今でも外国への興味が強く、外国の方と仲良くなりたい、外国の文化や教育について知りたいという思いが強くある。

また、小学校に外国語活動が取り入れられたこともあり、外国について自分の目で見たことや感じたことを子どもたちに伝えていきたいという思いから参加した。

### 2 実地研究の日程と概要

		交通等	訪問地・用務等	泊
4/11	火	履修等, 説明会 L304		
5/7	木	1440-1600 C505 事前研究1 渡航までの日程や諸準備の確認、授業研究テーマの設定方法		
6/4	木	1440-1600 C505 事前研究2 授業研究テーマ案の交流		
7/1	水	日米教育事情懇談会		
7/9	木	1800-1930 C505 事前研究3 学習指導案(英文)の検討		
7/18	土	L104 第5回 L104 GPSC 学校間国際交流フォーラム		
7/19	日	C505 学習指導案(英文)の検討		
7/30	木	1440-1600 C526 事前研究4 学習指導案の検討 渡航のための諸手続き		
8/27	木	1440-1600 C505 事前研究5 学習指導案の検討及び教材・教具の作成 渡航のための諸手続き		
9/3	木	1440-1600C505 事前研究6 学習指導案の検討及び教材・教具の作成 渡航準備		
9/9	水	1440-1600 C505 直前打ち合わせ 報告書作成及び発表会の打ち合わせ		
9/12	土	広島-成田 0745-0925 NH-3128 成田-ワシントン 1110-1045 NH-2 ワシントン 1344-1448 ローリー — UA-7183		米国ノースカロライナ州 Greenville City Hotel & Bistro 203 W. Greenville Blvd, Greenville, NC 27834 TEL(877)271-2616 Toll Free(877)271-2616

9/13	日		East Carolina University 事前打ち合わせと準備	Greenville 同上
9/14	月		学校訪問 Elmhurst Elementary School 学校、授業観察 小学校の先生と打ち合わせ	Greenville 同上
9/15	火		学校訪問 Elmhurst Elementary School 授業観察 授業実践（安田さん、古市）	Greenville 同上
9/16	水		私立学校訪問	
9/17	木		学校訪問 Exploris M.S.	米国ノースカロライナ州 Raleigh Raleigh Marriott Crabtree Valley 4500 Marriott Dr., Raleigh, NC 27612 TEL (919)781-7000 FAX (919)781-3059
9/18	金	ローリー 1245-1350 ワシントン ン UA-7374	学校訪問 アメリカ文化体験	Washington DC Beacon 1615 Rhode Island Ave, NW, Washington, DC 20036 TEL (202)296-2100 FAX (202)331-0227
9/19	土		アメリカ文化体験	Washington DC 同上
9/20 9/21	日 月	ワシントン 1220-1520 成田 NH-1 成田 1725-1900 広島 NH-3129		機中泊
11/12	木	事後指導 発表会		

### 3 実地研究授業

#### 3.1 単元等名 第3学年 異文化交流「三文字熟語で表現しよう」

#### 3.2 事前準備

##### ①授業設定の理由

本授業のねらいは、子どもたちが漢字を用いてオリジナルの三文字熟語を作ることを通して、漢字を知り日本の文化に興味をもつことである。

子どもたちがオリジナルの3文字熟語を作成するに当たり日本文化に触れてもらうためにも漢字での三文字熟語作りとした。また、たった三つの単語で相手に伝わるようになにかを表現する活動を通して、身近なものを改めて見つめなおし、表現するための想像力を活発にすることも目指している。クラスメイトが作った三文字熟語を交流することにより、物事を多角的に見たり、想像力を膨らませたりする楽しさを感じるきっかけになればと考えた。

また、授業の中で「雪月花」という日本の三文字熟語を紹介し、その意味について想像を膨らませ、日本では自然の美しさやはかなさを見つめることを通して言葉が作られていったことに気づいてもらいたいと考えた。

##### ②準備したものとその意図

「雪月花」という言葉の意味を想像しやすくするために、「雪月花」という漢字表記のものだけでなく、「Setu Getu Ka」とローマ字で表記したもの、「Snow Moon Flower」とそれぞれの意味を英語で訳したものを児童に見せた。また、「雪」「月」「花」それぞれの写真を用意した。その写真は日本の風景写真の中から、「雪」「月」「花」だけが大きく映っている写真を選んだ。

笑	共	心	行	走
syou	kyou	shin	gyou	sou
smile	with	heart	go	run

配布したワークシートの一部

さらに、漢字で三文字熟語を作るために、漢字（例えば 人）、漢字のローマ字読み（Hito）、英訳（Human）を書いたワークシートを配布した。アメリカの子どもたちの中には漢字を書いたことのない子どももいるだろうことを考慮し、画数が少なく、けれども他の漢字と結ぶつける事でさまざまな意味を想定できる漢字を20字選んだ。

#### 3.3 学習指導案

**Lesson Title:** Let's share our feeling by 3 words!!

**Grade Levels:** 3

**Subject:** Culture Education

**Description:** In this lesson, students notice that they can communicate with people by only some words. And they feel fascinations of Japanese language.

**Goal:** This lesson will encourage students to use a vivid imagination. It will also help students develop a interest for their own language and difficult one.

**Objectives:** As a result of this activity, the children will be able to:

1. Understand that we can communicate by using easy and little words.
2. Realize the pleasure to express their feeling by only 3 words and to image meaning of idiom.

**Materials, resources and Technology:** pictures

Procedure:

Student's activity	Teacher's activity	Materials
1. Image the meaning of 'snow, moon, flower'.	Ask about the idiom's meaning.	Picture
2. Understand meaning of the idiom and fun of the Japanese idiom.	Show the pictures of snow, moon and flower. Teach this idiom mean the four seasons's beautiful.	Picture
3. Make the idiom expressing something by 3 words.	Give them the sheet which written Japanese KANJI. Let them to make the idiom by 3 KANJI.	Sheet Construction paper Pen
4. Exchange their idioms and image their feeling.	Let them to introduce their idiom.	
5. Listen about the teacher's impression on the class.	Good imaginations make dream.	

3.4 授業の実際

はじめに、「雪月花」という言葉を提示しその意味を想像させると「自然」、「美しい」という答えが返ってきたため、雪月花は四季の美しさを意味していることを伝えた。

つぎに私が考えたオリジナルの三文字熟語を紹介し、その意味を想像させた。それぞれの熟語の意味についてさまざまな考えが出た。

その後、いくつかの漢字とその漢字の意味を英語で書いたワークシートを配布し、漢字を三つ選んで三文字熟語を作った。漢字を正確に書くことはできていなかったが選んだ漢字を一生懸命書き写していた。色鉛筆などを用いてカラフルな作品に仕上げている子どもたちが多くおり、早く作り上げた子はほかにも三文字熟語を考えていた。また、隣り同士で作った作品を見せ合って楽しんでいた。

出来上がった作品はとともすてきなアイデアにあふれたものになっていた。作品を発表し、交流するときには担任の先生の促しもありほとんどの子どもたちが作品を発表し、盛り上がった。



写真1 授業中の様子

### 【子どもたちが作った作品例】

- ・甘 大 人 →お母さん
  - ・心 強 甘 →お父さん
  - ・甘 心 大 →友だち
  - ・笑 強 走 →フットボールプレイヤー など。
- 家族や友だちを表現する作品が多く作られていた。

### 3.5 考察

担任の先生が私の授業の前に Reading の授業で日本のお米に関する教材を取り上げてくださり、子どもたちの日本への興味が高まっていた。さらに、漢字に興味をもっている子どもたちもおり、「一度漢字を書きたかった」と話していた。漢字を書くことは子どもたちにとって初めての体験であり、難しいかと懸念したがとても楽しそうだった。また、日本の四季の風景写真を見せると子どもたちから「beautiful」とよい反応があった。日本の文化や日本のよさを十分伝えることができたとは言えないが、子どもたちも積極的に授業に取り組み、おもしろい作品を作ることができた。

課題としては、用意していた教材に頼った授業をしてしまい説明や発言が曖昧でうまく伝わらなかったことがあげられる。また、子どもたちから出た意見を十分に理解し、授業に活かしていくこともできなかった。

## 4 体験型教育実地研究における自己変容

### 4.1 教育観の変容

#### ①子ども観

私はアメリカを訪れる前、アメリカの子どもたちは「自分の考えや気持ちを大切にし、積極的に考え、発言する」というイメージをもっていた。実際にアメリカで授業を観察させていただき、授業実践をしたあとも印象は大きく変わってはいない。授業実践のときも、私の発問やわからないことがあったときには多くの子どもたちが手を挙げて発言していた。「こんなことを言っているのだろうか、こんなことを聞いていいのだろうか」という発表への恐れがあまりないように感じた。それよりも、自分なりに考えたことを自信をもって発言していた。そして、出来上がった三文字熟語を発表する際にはまだ発表していない子どもたちへ発表を促す子どもたちもおり、子どもたち同士の発言もよく聞く習慣があると感じた。

#### ②授業観

授業観察をさせていただいた時、教師は「この授業で何をできるようになればいいのか」「今何を考えなければならぬのか」「そのためにどのようなことをすればいいのか」を明確に指示していた。言葉数はあまり多くないが、はっきりとした口調で子どもたちに話していた。

子どもたちは教師が話しているときは黙って聞き、話すべき時には積極的に発言していた。今何をすべきかを理解させているからこそ子どもたちは「今何をするときなのか」を考え、授業にめりはりができていた。

### ③学校観

Elmhurst Elementary School を訪問したとき、教師たちが子どもたちに対して個に応じた教育をし、多くの時間でプラスの言葉かけをしている様子を見せていただいた。例えば、アメリカに移住したばかりで英語を話すことができない子どもには別教室でマンツーマンで先生が英語を教えていた。その時多くのプラスの言葉をかけ、励ましながら教えていた。子どもたちのやる気を高め、学習意欲を喚起するためにも、子どもの主体性をはぐくむためにも、プラスの言葉かけはとても大切であると感じた。

### ④教育観

私が何よりも驚いたのは、学級の掲示物がとてもカラフルだったことだ。私が日本で今まで見てきた学級掲示物は黒板の上には学級目標があり、後ろには子どもたちが書いた習字や描いた絵、左右の壁にはあまり装飾をしていないという様子であったが、学校訪問させていただいた Elmhurst Elementary School ではどの教室も赤や青など明るい原色を用いた学級掲示がなされていた。「こんなにカラフルな学級の中で子どもたちは心を落ち着かせて授業に取り組むことはできるのだろうか、気が散ったり集中できなかつたりしないのだろうか」と率直に疑問を感じた。しかし、先生たちも子どもたちもカラフルな掲示物をあまり気にせず、集中して取り組んでいた。

#### 4.2 自分自身についての変容

英語が不得意であるため、はじめは話が伝わらないのではないかとおそれコミュニケーションをとることを避けていた。しかし、話してみると皆さんが私の話を一生懸命理解しようとしてくれた。うまく英語を話すことができなくても、お互いに話そう、理解しようと思えば思いは伝わることを体験してとてもうれしく思い、私の自信となった。

Elmhurst Elementary School を訪問したとき、多くの時間で教師が子どもたちに対してプラスの言葉かけをしている様子を見せていただいた。子どもたちをよくほめることで学級の雰囲気が高まり、子どもたちの意欲を喚起していた。そのような教師の子どもたちに対する積極的な働きかけを私もしていきたいと思った。

#### 4.3 グローバルマインドに関する変容

小学校の外国語学習の際、「英語をうまく話そうとするよりも、外国の方と話をしたい、相手のことを理解したいと思う気持ちが大切」とよく言われるが、本当にその通りだと思った。「話したい、仲良くなりたい」というお互いの気持ちが私のつたない英語でのコミュニケーションを成り立たせていたように思う。

また、この体験型教育実地研究を受講して国は違っても子どもたちも大人も変わらないところはたくさんあることに気づけた。確かに私たちと異なるところもあったが、教育への思いや世界平和の心など同じ思いを共有できたことがとてもうれしかった。

### 5 おわりに

お世話になった日米の先生方、一緒に参加した高谷先生や友人に感謝いたします。今回参加できたことで学んだこと、考えたことを生かしていきたいと思っております。